

## 5 ソルガム

### (1) 国際的なソルガム需給の概要

#### ○2008/09年度のソルガム需給（予測）のポイント

ソルガムの供給面では、アルゼンチン、ナイジェリア等で増加するものの、米国等で減少することから世界の生産量は減少が見込まれている。

需要面では、米国等で減少するものの、ナイジェリア、インド等で増加することから、世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を下回ることから減少し、期末在庫率も低下すると見込まれている。

#### 【生産量】

生産量は、アルゼンチン、ナイジェリア等で増加するものの、主要な生産・輸出国である米国等で減少することから世界全体では前年度より0.5百万トン減少（▲0.7%）し、61.5百万トンとなる見込みである。

#### 【消費量】

消費量は、米国等で減少するものの、ナイジェリア、インド等で増加することから、世界全体では前年度より0.1百万トン増加（0.1%）し、61.7百万トンとなる見込みである。

#### 【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より0.4百万トン増加（9.6%）し、5.5百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではアルゼンチンや貿易量の約6割を占める米国で輸出量の増加が見込まれている。一方、輸入国では、チリ等で飼料用需要の増加から輸入量の増加が、メキシコで生産量の増加による輸入量の減少が見込まれている。

#### 【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を下回ることから世界全体では前年度より0.1百万トン減少（▲3.1%）し、4.7百万トンとなり、期末在庫率は7.6%（0.3ポイント減）と低下する見込みである。

表-1 世界のソルガム需給

(単位:百万トン)

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
<b>生産量</b>	<b>63.3</b>	<b>62.0</b>	<b>61.5</b>	...	<b>▲ 0.7</b>
ナイジェリア	10.0	11.0	11.5	...	4.5
米国	12.6	12.0	9.7	...	<b>▲ 19.6</b>
インド	7.9	7.2	7.5	...	3.6
メキシコ	6.2	6.3	6.5	...	3.2
スーダン	4.5	4.7	4.7	...	0.0
アルゼンチン	2.9	2.0	3.3	...	65.0
エチオピア	2.7	2.6	2.6	...	<b>▲ 0.7</b>
<b>消費量</b>	<b>63.2</b>	<b>61.6</b>	<b>61.7</b>	...	<b>0.1</b>
うち飼料用	29.1	25.7	25.5	...	<b>▲ 0.6</b>
ナイジェリア	10.0	11.0	11.5	...	4.6
メキシコ	7.2	8.4	8.6	...	2.4
インド	7.9	7.2	7.5	...	4.2
米国	5.1	8.4	6.4	...	<b>▲ 24.2</b>
スーダン	5.1	4.8	4.8	...	0.0
エチオピア	2.6	2.7	2.7	...	0.0
EU-27	6.1	1.1	1.0	...	<b>▲ 9.1</b>
<b>貿易量</b>	<b>9.8</b>	<b>5.1</b>	<b>5.5</b>	...	<b>9.6</b>
(輸出)					
米国	7.1	3.3	3.6	...	7.7
アルゼンチン	1.2	0.5	0.8	...	60.0
オーストラリア	0.8	0.8	0.8	...	0.0
ブラジル	0.1	0.1	0.1	...	0.0
中国	0.2	0.1	0.1	...	33.3
ナイジェリア	0.1	0.1	0.1	...	0.0
インド	0.1	0.0	0.0	...	0.0
(輸入)					
メキシコ	1.2	2.3	2.2	...	<b>▲ 4.3</b>
日本	1.1	1.4	1.4	...	0.0
EU-27	5.8	0.4	0.4	...	0.0
スーダン	0.3	0.3	0.3	...	0.0
チリ	0.4	0.2	0.3	...	50.0
イスラエル	0.1	0.1	0.1	...	50.0
ニジェール	0.1	0.1	0.1	...	0.0
<b>期末在庫量</b>	<b>4.5</b>	<b>4.8</b>	<b>4.7</b>	...	<b>▲ 3.1</b>
米国	1.3	1.7	1.4	...	<b>▲ 15.3</b>
メキシコ	0.4	0.6	0.7	...	17.5
スーダン	0.5	0.5	0.6	...	17.9
ナイジェリア	0.2	0.2	0.2	...	0.0
エチオピア	0.2	0.2	0.2	...	0.0
インド	0.2	0.2	0.2	...	<b>▲ 12.4</b>
アルゼンチン	0.2	0.2	0.2	...	0.0
<b>期末在庫率</b>	<b>7.1%</b>	<b>7.8%</b>	<b>7.6%</b>	...	<b>▲ 0.3</b>

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」

(2) ソルガムの主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国

【需給状況】

米国の生産量は、収穫面積、単収ともに減少することが見込まれていることから前年度より2.3百万トン減少（▲19.6%）し、9.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、食肉需要の減少に伴う飼料用需要の減少に加え、エタノール原料用需要も減少が見込まれることから前年度より2.0百万トン減少（▲24.2%）し、6.4百万トンとなる見込みである。

輸出量は、ソルガム需要が世界的には増加していることから前年度より0.3百万トン増加（7.7%）し、3.6百万トンとなる見込みである。

この結果、生産量が消費量と輸出量を下回ることから期末在庫量は前年度より0.3百万トン減少（▲15.3%）し、1.4百万トンとなり、期末在庫率は14.2%（0.0ポイント減）となる見込みである。

【生育進捗状況及び作柄】

米国のソルガムの主要11州の作付進捗率は5月17日現在で38%となっており、大平原南部では干ばつ傾向で推移しているにも関わらず、前年度並みで、過去5年の平均に比べ1ポイントほど遅れている。州別にみると、最大の生産州のカンザス州では5%と遅れているものの、南部のテキサス州で73%と過去5年の平均より9ポイント進捗が進んでいる。

我が国の輸入先国シェア 1位（2008年数量ベース 46.5%）  
世界の生産量シェア 2位（2009/10年度 15.7%）  
輸出量シェア 1位（2009/10年度 64.1%）

表-2 米国のソルガム需給（市場年度：9月～翌年8月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	12.6	12.0	9.7	…	▲ 19.6
消費量	5.1	8.4	6.4	…	▲ 24.2
うち飼料用	4.2	5.6	4.1	…	▲ 27.3
輸出量	7.1	3.3	3.6	…	7.7
輸入量	0.0	0.0	0.0	…	▲ 100.0
期末在庫量	1.3	1.7	1.4	…	▲ 15.3
期末在庫率	11.1%	14.2%	14.2%	…	▲ 0.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.75	2.94	2.41	…	▲ 18.0
単収(t/ha)	4.60	4.08	4.01	…	▲ 1.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」

○ 米国ソルガムの生育進捗状況（5月17日現在）及び作柄

〔生育進捗状況〕

作付率 38%（平年差：▲1 p、前年差：±0 p）

資料：USDA「Crop Progress」

注：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

## イ アルゼンチン

### 【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、前年度の干ばつの影響により、作付けが見送られたり収穫不能となって減少した収穫面積が2007/08年度と同水準まで回復すること、主要生産地域で低下した単収が回復すると見込まれることから、前年度より1.3百万トン増加(65.0%)し、3.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の増加から前年度より1.0百万トン増加(66.7%)し、2.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より0.3百万トン増加(60.0%)し、0.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの、0.2百万トンとなり、期末在庫率も4.8%(3.2ポイント減)と低下する見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度のアグアルゼンチンのソルガムは収穫中であり、5月21日現在の収穫進捗率は66%となっている。主要産地のサンタフェ州、コルドバ州、エントレリオス州などでは1月から2月上旬と3月にかけて高温と干ばつの影響を強く受け、生育が阻害された。サンタフェ州などでは収穫されず、すでに牧草として刈り取られたほ場もある。なお、1月26日に主要産地において非常事態が宣言されている。

なお、2009/10年度の作付けは、例年10月頃から開始される。

## ウ 中国

### 【需給状況】

中国の生産量は、収穫面積が減少することから前年度より0.1百万トン減少(▲5.6%)し、1.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン減少(▲5.5%)し、1.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より2.5万トン増加(33.3%)し、0.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並み(▲4.7%)の、0.5百万トンとなり、期末在庫率も29.4%(0.2ポイント減)と低下する見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

中国のソルガムは、4月から作付けが徐々に始まった。例年は、6月中旬頃までに終了する。

### 【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付を取り消し、輸出税を課していたが、2008年12月1日からは、輸出税は撤廃されている。

(世界の輸出量シェア 2位(2009/10年度 14.4%))

表-3 アルゼンチンのソルガム需給  
(市場年度：翌年3月～翌々年2月)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10			
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	2.9	2.0	3.3	(…)	…	65.0
消費量	1.8	1.5	2.5	(…)	…	66.7
うち飼料用	1.6	1.3	2.3	(…)	…	76.9
輸出量	1.2	0.5	0.8	(…)	…	60.0
輸入量	0.0	0.0	0.0	(…)	…	…
期末在庫量	0.2	0.2	0.2	(…)	…	0.0
期末在庫率	5.4%	8.0%	4.8%	(…)	…	▲3.2
(参考)						
収穫面積(百万ha)	0.71	0.54	0.70	(…)	…	29.6
単収(t/ha)	4.14	3.70	4.71	(…)	…	27.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
IGC「Grain Market Report (30 April 2009)」

(我が国の輸入先国シェア3位(2008年数量ベース 10.3%))  
(世界の輸出量シェア4位(2009/10年度 1.8%))

表-4 中国のソルガム需給(市場年度：10月～翌年9月)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10			
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	1.9	1.8	1.7	(…)	…	▲5.6
消費量	2.1	1.7	1.6	(…)	…	▲5.5
うち飼料用	0.1	0.1	0.0	(…)	…	▲52.9
輸出量	0.2	0.1	0.1	(…)	…	33.3
輸入量	0.0	0.0	0.0	(…)	…	…
期末在庫量	0.5	0.5	0.5	(…)	…	▲4.7
期末在庫率	23.1%	29.7%	29.4%	(…)	…	▲0.2
(参考)						
収穫面積(百万ha)	0.50	0.45	0.43	(…)	…	▲4.4
単収(t/ha)	3.84	4.00	3.98	(…)	…	▲0.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
IGC「Grain Market Report (30 April 2009)」

## エ オーストラリア

### 【需給状況】

オーストラリアの生産量は、収穫面積が減少すると見込まれることから、前年度より0.1百万トン減少（▲6.3%）し、2.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の減少から前年度より0.1百万トン減少（▲6.2%）し、1.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度並みの、0.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並み（▲2.8%）の、0.2百万トンとなり、期末在庫率も7.7%（0.1ポイント増）となる見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度のオーストラリアのソルガムの収穫は、2月頃から始まり、6月頃に終了する予定である。5月下旬での収穫進捗率は約90%である。1月には比較的高温で乾燥天候だったものの、10～12月と2月に主要産地のクィーンズランド州南部とニューサウスウェールズ州北部で平年以上の降雨に恵まれたために作柄は良好である。

なお、2009/10年度の作付けは、9月頃から開始される。

## オ インド

### 【需給状況】

インドの生産量は、収穫面積の増加が見込まれることから、前年度より0.3百万トン増加（3.6%）し、7.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、生産量の増加に伴い、前年度より0.3百万トン増加（4.2%）し、7.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並み（▲12.4%）の0.2百万トンとなり、期末在庫率も2.4%（0.4ポイント減）と低下する見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度のインドのラビ（春夏）期のソルガムは、主要産地のマハラシュトラ州、カルナタカ州でサトウキビから作付けがシフトしており、これらの地域では順調に生育した。3月頃から収穫が始まり、5月までに終了した。

なお、2009/10年度の作付けは、6月から開始される。

（我が国の輸入先国シェア2位（2008年数量ベース 35.4%）  
世界の輸出量シェア 3位（2009/10年度 13.5%）

表－5 オーストラリアのソルガム需給  
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値 (ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生産量	3.1	2.4	2.3 (…)	…	▲ 6.3
消費量	2.2	1.6	1.5 (…)	…	▲ 6.2
うち飼料用	2.2	1.6	1.5 (…)	…	▲ 6.3
輸 出 量	0.8	0.8	0.8 (…)	…	0.0
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (…)	…	…
期末在庫量	0.1	0.2	0.2 (…)	…	▲ 2.8
期末在庫率	4.5%	7.6%	7.7% (…)	…	0.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.03	0.80	0.75 (…)	…	▲ 6.3
単収 (t/ha)	2.99	3.00	3.00 (…)	…	0.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
ABARE 「AUSTRALIAN CROP REPORT (17 February 2009)」

（世界の生産量シェア3位（2009/10年度 12.2%）

表－6 インドのソルガム需給（市場年度：11月～翌年10月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値 (IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生産量	7.9	7.2	7.5 (…)	…	3.6
消費量	7.9	7.2	7.5 (…)	…	4.2
うち飼料用	1.5	1.2	1.5 (…)	…	25.0
輸 出 量	0.1	0.0	0.0 (…)	…	0.0
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (…)	…	…
期末在庫量	0.2	0.2	0.2 (…)	…	▲ 12.4
期末在庫率	2.3%	2.8%	2.4% (…)	…	▲ 0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.93	7.50	7.70 (…)	…	2.7
単収 (t/ha)	1.00	0.97	0.97 (…)	…	0.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
IGC 「Grain Market Report (30 April 2009)」